

日曜日礼拝順序

2019年8月4日 午前11時 南部チャペル

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
讚美	賛美歌54番	“よろこびの日よ ひかりの日よ”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		一同
	使徒行伝12章18-24節	
讚美	賛美歌512番	“わがたましいの したいまつる”
説教	“主に栄光を帰せよ”	Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌385番	“うたがいまよいの 闇夜について”
献金		下竹祐三郎兄
賛美歌	205 (1-2節)	
聖餐式		Scroggins 由紀牧師
賛美歌	205 (3-4節)	
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		鈴木義兄

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

光の会 午前9時30分

憩いの場

“我らの避け所”

“主はわれらの避け所また力である。悩める時のいと近き助けである。”
(詩編46篇1節)

この夏、7月はシカゴでも数日、とても暑く外を歩くのは、数分でも大変な日がありました。そういう時は、エアコンの効いた店内が楽園のように思えます。人間だけでなく、動物たちもそういう日は木陰の涼しいところでじっとしている様子がうかがえます。以前うちで飼っていた犬は、縁側の下に穴を掘り、暑いとそこに入っていました。動物にはそういう直感が与えられているのでしょうか。暑さや寒さ、雨や強風をしのぐため、生きているものすべてには、いわゆる避けどころ、シェルターが必要です。シェルターというと、私たちは自分とあまり関係がないと思っているかもしれませんが、考えてみると、どの人間にとっても、それは必需品なのです。私たちが住んでいる自宅や職場、教会も私たちを守るシェルターとして機能していますが、あたりまえではなく神から与えられているものです。

詩編46篇の作者は、主はわれらの避けどころ、また力である、とうたい、悩んでいる者たちの近い助けであるといっています。主を信じる多くの人々は、サウルに追われていたダビデ王の例を挙げてもそうですが、切実に避けどころを求める人々でした。そして、彼らは神とのつながりにより、守られていたのです。神ご自身がそのご慈愛により、私たちの避け所になってくださることを覚えましょう。そして、貧困や飢饉、迫害、暴力などから逃れて、さまよう人々もそのご慈愛の対象であると覚えて、共感を示すことができますように。(Scroggins 由紀)

記事:消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、Chieko Dano 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。また新しく発足されました光の会に神の祝福がありますようにお祈りください。

—先週は、礼拝後、坂田淑姉が、鰻のちらし寿司を持ち寄ってくださり、皆で共にいただきました。美味しいランチを作ってくださった坂田姉に感謝いたします。

お知らせ

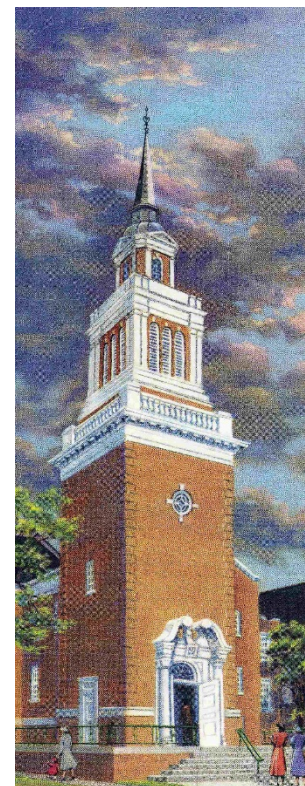
—毎週日曜日、午前9時30分より、南部チャペルにて、“光の会”と題して朝のさわやかな光の中で、対話と祈りをもって気軽に集う会を設けております。キリスト教に興味がある方、教会をしばらく離れている方、祈りを必要とされている方、どうぞご参加ください。

—8月11日は教会のピクニックが教会前の Lakewood 通りにて行われます。日本語部は礼拝後、すぐに参加しますが、詳細に関しては追ってお知らせいたします。

—8月は One Great Hour of Sharing (OGHS) の献金を募る月です。この献金は、世界各地で災害に会い困窮しているバプテスト教会のために用いられます。献金は Warner Matching Funds により同額が補助されますので、どうぞご参加ください。

今週の讚美：ガリラヤの風かおる丘で

<https://www.youtube.com/watch?v=i96RzCnzdnw>



週報

第3731号

2019年8月4日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

発行：2019年7月31日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org